

研究課題名	新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査 —New Japan Cardiac Device Treatment Registry(New JCDTR)—
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 心臓血管内科
研究責任者(職名)	布廣 龍也(診療部長)
研究期間	2020年9月16日 ~ 2023年3月31日
研究目的と意義	日本では心臓植込み型デバイスの植込みの適応に関しては、主に海外のデータを利用して決定しており、日本人を対象としたデータは限られています。そこで、日本人に即した心臓植込みデバイスの適応を考慮する為、まずは心臓植込み型デバイスを植込まれた日本人の患者さんの経過観察を行い、その観察をもとに日本人に適した心臓植込みデバイス植込み基準の適性を検討します。
研究内容	●対象となる患者さん
	2020年9月16日～2023年3月31日の間に当院にて心臓植込み型デバイス(ICD, CRT-P, CRT-D, S-ICD)を植込み治療が行われた患者さん
	●利用する情報
	【植え込み時】 [基礎項目] 性別、年齢、植込の種類、植込み術者、植込み目的、1次予防時の対象不整脈、植込み適応、植込みデバイス種類、植込み時のモード、除細動テストの有無、植込み時の合併症、併用薬剤(抗不整脈薬、心血管作動薬、抗凝固療法)、着衣型除細動器(WCD)使用の有無、腎臓透析の有無 等 [患者背景情報] 身長、体重、基礎心疾患、冠動脈疾患の有無、冠動脈造影、植込み時までの血行再建術の既往、心房細動・粗動の有無、心疾患以外の疾患、NYHA分類、左室機能、植込み時の胸部X線・心電図、非持続性心室頻拍の有無、VT NSVTに対する治療の既往、Dyssynchrony、加算平均心電図、TWA、電気生理学的検査、Holter心電図、血液生化学結果 等 【経過観察】 イベントの有無(VT/VFの発生、不適切作動、死亡、心不全のための入院、デバイスに関する合併症、デバイス関連の再手術)、臨床背景のイベント(非持続性心室頻拍、カテーテルアブレーション、血行再建術の有無)、経過観察不能と判定した日 等
	●研究方法
	上記の情報をカルテより収集し、1年毎にデータベースに登録します。植込み時の臨床背景とその後の予後等を比較することにより、デバイスの植込み適応が適切であったかどうかを判断します。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 受付時間：月～金 9:00～17:00(土日祝日を除く)

研究課題名	レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 心臓血管内科
研究責任者(職名)	武野 正義 (主任診療部長)
研究期間	2020年 12月 22日 ~ 2030年 3月 31日
研究目的と意義	全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いです。諸外国では定期的にデータを取得し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。 そこで今回の研究では、JROAD（循環器疾患診療実態調査）協力施設よりDPC情報を収集し、JROADのデータと連結させ、大規模データベースを構築し、プロセス及びアウトカム指標による医療の質評価を実施することを目的とします。
研究内容	●対象となる患者さん 2012年4月1日から2025年3月31日に、循環器疾患診療実態調査の対象施設に循環器疾患で入院されたすべての患者さん
	●利用する情報 性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらのICD-10コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用情報
	●研究方法 JROAD（循環器疾患診療実態調査）インフォメーション画面にアクセスし本調査用に作成された形式チェックソフトをダウンロードします。このソフト（ソフトはオフラインで使用）に厚労省提出用の匿名化されたDPCデータファイルを通すことで、ファイル間の整合等のチェックおよび本調査に関連のある疾患に該当する症例の抽出を行い、提出用のデータファイルが暗号化された形式で自動作成されます（ファイルは開くことは出来ない）。自動作成された提出用のデータファイルをCD-R等の電子記憶媒体に保存した後レターパック等の追跡可能な配送方法にて国立循環器病研究センター OIC循環器病統合情報センター内のJROAD事務局へ郵送する予定です。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095（822）3251 受付時間：月～金 9:00～17:00（土日祝日を除く）

研究課題名	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 心臓血管内科
研究責任者(職名)	武野 正義 (主任診療部長)
研究期間	2021年 9月 28日 ~ 2023年 12月 31日
研究目的と意義	急性心筋梗塞診療の現状を把握し今後の診療の改善に役立てることを目的とします。
研究内容	●対象となる患者さん
	2015年11月1日～2017年5月31日の間に急性心筋梗塞症で入院された方
	●利用する情報
	診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、画像検査、心電図検査、内服薬、冠動脈治療の有無／方法、予後
	●研究方法
	(急性心筋梗塞発症時のデータ収集) 各施設で、JAMIR登録システムを用いて、対象患者のデータ登録を行います。既に急性心筋梗塞患者の既存データ入力システムがある場合には、本研究に必要な項目を抽出したデータファイルを作成し、本研究のデータセンターに送付し、データセンターにてデータ入力・登録を行います。 (追跡調査) 急性心筋梗塞患者の発症1年後の追跡調査は、各施設の診療情報を基に原則行います。転院等で各施設に1年後の診療情報が存在しない患者に対しては、追跡調査の手紙を郵送し、イベントの情報収集を行います。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095 (822) 3251 受付時間：月～金 9:00～17:00 (土日祝日を除く)

研究課題名	長崎県における外来通院中の高齢慢性心不全患者の臨床経過に関する研究
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 心臓血管内科
研究責任者(職名)	武野 正義 (主任診療部長)
研究期間	2021年 10月 21日 ~ 2028年 12月 31日
研究目的と意義	* 背景 心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。日本全体の心不全患者さんの数は、2005年で約100万人、2020年で120万人達しています。一度心不全になった患者さんは、過剰な塩分摂取や、肺炎などの感染症、お薬の飲み忘れなどが原因で、急激に呼吸が苦しくなることがあります。心不全が進行しないためにも予防が非常に重要です。 * 目的 本研究では、外来通院中の慢性心不全患者さんにおける、心不全の原因や、治療内容、治療経過、またその要因を検討するために、急性病院の循環器外来通院中の患者さんを対象としたレジストリーを構築して、県内の心不全患者さんの治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。 * 意義 本研究を通して、県内の慢性心不全治療の実態を明らかにし、リスク因子の把握や、治療内容等を把握し、診療の質や治療経過の改善に繋げることを期待しています。
研究内容	●対象となる患者さん 対象となる患者さんは下記を全て満たす方です。 1) 同意取得時の年齢が65歳以上の男性・女性 2) 診療録上、心不全の診断で通院施設に5年以内に心不全入院歴のある方 3) 循環器内科を中心に県内の長崎県内の2次、3次救急医療機関に通院中の方
	●利用する情報 診療録に記載の、生年月、性別、国籍、生活習慣(喫煙歴)、生活環境、心不全入院歴、既往症・合併症、心不全の状態、治療薬等の情報を入力します。また、肺炎球菌ワクチン接種、インフルエンザワクチン接種の有無を把握します。その後、2年間の中で、何らかの入院(心不全以外を含む)があった場合には、入院日の他、入院に至った原因の病名等の収集を行います。また、同意を頂きました日から2年間経過した際も同様に、2年間での入院の有無や、入院に至った原因、その際の診療録の医学的な情報、治療経過の情報を診療録から抽出します。
	●研究方法 長崎大学病院循環器内科を中心に県内の2次、3次救急医療機関約8施設で実施します。共同研究機関の対象患者さんの情報を用いて、心不全の治療経過との関連を調べ、リスク因子などの解析を行います。また収集した情報に関しては、個人情報の取り扱いに留意し、匿名化した上で、共同研究機関並びに共同研究者が属する京都大学予防医療学分野に提供予定です。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095 (822) 3251 受付時間：月～金 9:00～17:00 (土日祝日を除く)